

## 進路講演会

4月6日に6年生に、4月21日に5年生に対して進路講演会が行われました。5年生の感想の一部を紹介します。内容の一端がうかがえることと思います。



### 私立文系の生徒に対して、ベネッセコーポレーションの森氏の講演

- \* 「今やるべきことをやらないと、今後の人生70年苦しむことになる」という言葉がとても印象に残りました。今は将来やりたいことが見つからない中で、とにかく大学に入るために勉強しているけれど、長い目で見れば今ほど勉強する時期、しなくてはいけない時期はないし、今の努力が自分の将来を左右するなら、嫌でも勉強するしかないのかな、と覚えてきました。
- \* 学部や学科にこだわらず、どこの大学でもいいという人は、必ず大学に入れる時代だそうです。でも、そういう大学に簡単に入ってしまうと後が大変らしいです。甘い蜜には毒があると言っていました。私も、大学選びは真剣に考えたいです。(小沢彩千さん)

### 国公立・理系の生徒に対して、駿台予備学校の笹田氏の講演

- \* 学校の先生が言うことも塾の先生が言うことも、基本的には同じことなんだなと思いました。難しい問題に取り組む前に基礎固めをする、授業を大切にする、予習→授業→復習をしっかりとやる、わからないことは先生に聞く、模試を受けたら受けっぱなしにしないで復習をする、など普段先生から言われていることばかりでした。しかし、よく聞くことだけれど私自身いったいいくつのことが実行できているのでしょうか。(大岩美穂さん)
- \* 模試の活用法はとてもためになりました。私は模試が返ってくると一番初めに見るのが志望大学の判定で、次に得点、順位です。しかし、今回の講演を聞いて、模試を受けたら終わりではない、ということがわかりました。模試は毎回は本番のつもりで受ける→復習1回目→返却では設問別成績に注目→復習2回目→期間をおいて復習3回目…この流れを参考にして今後の模試を受けたいと思います。(影山佳子さん)

